

## 会 議 録

会議の名称	第1回旧笹川家住宅保存活用計画策定検討委員会
開催日時	平成27年10月27日（火） 10時30分から12時00分まで
開催場所	曾我・平澤記念館 企画展示室
出席者	<p><b>【旧笹川家住宅保存活用計画策定検討委員会 委員】</b>  石垣委員、海津委員、黒野委員（会長）、南雲委員、山崎委員（会長代理）  （欠席：後藤委員（会長代理）、堤委員）</p> <p><b>【アドバイザー】</b>  文化庁参事官付 下間調査官</p> <p><b>【幹事】</b>  新潟市建築部公共建築第1課 菊地課長  新潟市文化スポーツ部歴史文化課 渡辺課長  新潟市南区役所産業振興課 野内課長</p> <p><b>【事務局協力員】</b>  新潟市文化スポーツ部歴史文化課 入江副参事</p> <p><b>【事務局】</b>  新潟市南区役所 渡辺区長  新潟市南区役所地域課 永井課長  新潟市南区役所地域課 高橋課長補佐  新潟市南区役所地域課 滝沢係長  新潟市南区役所地域課 中村主査</p> <p><b>【支援業者】</b>  パシフィックコンサルタンツ株式会社（以降「PCKK」と記載）佐野、宮森、紙野</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 区長あいさつ</li> <li>3. 委員・事務局の紹介</li> <li>4. 文化庁下間調査官紹介</li> <li>5. 趣旨説明、これまでの経過報告及び検討委員会の開催について</li> <li>6. 会長の選出</li> <li>7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成27年度調査の概要について</li> <li>(2) 質疑及び意見交換</li> </ol> </li> <li>8. 現地視察</li> <li>9. 閉会</li> </ol>
会議資料	会議次第 旧笹川家住宅保存活用計画策定検討委員会 名簿 会場配置図 資料1 保存活用計画の趣旨、経過報告、検討委員会の開催についての説明資料 資料2 平成27年度調査の概要 参考資料 旧笹川家住宅修理履歴一覧表

## 会議内容(要旨)

### 1. 開会

高橋課長補佐

第1回旧笹川家住宅保存活用計画策定検討委員会を開催いたします。本日司会を務めさせていただく南区役所地域課の高橋と申します。よろしくお願い申し上げます。

本日の会議は公開しており、新聞社の取材を許可しております。また、会議録作成のために録音をさせていただきますのでご了承ください。

### 2. 区長あいさつ

渡辺区長

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

旧笹川家住宅は重要文化財に指定されておりますが、江戸時代に前身の建物が火災に遭い、1826年に今の建物が建てられ、現在に至っております。築190年が経過してもなお、まだまだ雄壮な佇まいで、地震にも負けず元気ががんばってくれておりますが、建物を見てみると、かなり老朽化しているところがあります。

また、来館者をみると、高速道路が開通した頃には、庄屋のブームもあったころで、たくさんの人に来館していただき、多い時は年間5万人がいらっしゃいました。ところが、今は約1割程度となっています。

平成11年に、文化庁から「保存活用計画を策定して欲しい」とのアドバイスがありました。交流人口を増やしたいという思いもあり、その後、旧笹川家住宅の開発実行委員会を立上げ、ワークショップを重ねて検討し、今年3月に提言書をまとめていただきました。市では、文化庁に計画策定の補助金の申請を行い、6月に交付決定され、今に至っております。本日お見えになっている下間調査官にはご尽力いただき、感謝しております。

保存活用計画の策定にあたっては、この委員会にて検討を進めていただきます。委員の皆様におかれましては、お引受けいただき感謝しております。

また、今回の計画策定に当たりご協力いただく事業者はパシフィックコンサルタンツです。会議にも参加しておりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様の活発なご議論を切にお願い申し上げます。以上、ごあいさつにかえさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

### 3. 委員・事務局の紹介

高橋課長補佐

お手元の委員名簿に沿って、委員・事務局をご紹介します。

(紹介)

### 4. 文化庁下間調査官紹介

高橋課長補佐

本日は、この保存活用計画を策定するにあたり、文化庁から下間調査官がいらしてくださいました。調査官から一言お願いいたします。

下間調査官	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>重要文化財は規制がかかって堅苦しい印象があるかもしれませんが、文化財を活用してみんなが楽しめ、みんなが参加できる枠組みをつくるのがこの活用計画の意義の一つであると考えています。旧笹川家住宅が地域の交流の核として光り輝けるように、皆様のお知恵をお貸してください。どうぞよろしく願いいたします。</p>
高橋課長補佐	ありがとうございました。
<b>5. 趣旨説明、これまでの経過報告及び検討委員会の開催について</b>	
高橋課長補佐	この委員会の趣旨と、これまでの経過と今後の検討委員会につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
滝沢係長	ご説明させていただきます。資料1をご覧ください。 (「資料1」説明)
高橋課長補佐	今の説明について、ご意見やご質問はございますか。
(一同)	(意見・質問なし)
高橋課長補佐	それでは、次第6. 会長の選出に移ります。
<b>6. 会長の選出</b>	
高橋課長補佐	会長を選出し、議事進行をお願いしたいと思います。自薦、他薦問いませんので、どなたかご意見はございませんか。
海津委員	地元の大学の先生である、黒野委員を推薦します。
高橋課長補佐	その他のご意見はございませんか。他になければ、黒野委員をお願いしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。
(一同)	(承認)
高橋課長補佐	それでは、黒野委員に会長を務めていただきます。黒野委員は会長席へお移りください。以降の進行は会長をお願いいたします。
黒野会長	<p>会長にご推薦いただきまして、ありがとうございます。大事な会議ですので、皆様のご意見を活発にいただけるような進行ができるよう努めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>委員会の設置要綱の第6条第2項に、「会長の職務代理」という規定がございます。私が出席できない場合には、同じ大学教員である山崎委員と後藤委員に職務代理をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
(一同)	(承認)
黒野会長	よろしく願いいたします。
<b>7. 議事</b>	
黒野会長	議事に入る前に、委員の皆様から自己紹介を兼ねて、この委員会に対するお考えや、

	<p>旧笹川家住宅に対する思いをお話しいただければと思います。</p>
石垣委員	<p>公募委員の石垣雅美と申します。私は、新潟日報メディアシップ5階にございます「にいがた文化の記憶館」という、新潟出身の文化人を紹介する施設の学芸員を務めております。文化の記憶館は平成25年にできたばかりの施設で、県内の顕彰施設と連携を図って、若い世代に文化人を紹介するインフォメーションセンターの役割を担うために設立されました。過去の人たちを紹介する難しさに日々苦戦しております。文化の記憶館に務める前には、新潟市美術館の非常勤学芸員を務めており、IPM（総合的病害虫管理）を中心とした美術館での保存や展示環境のつくりかたなど、保存に関わる仕事にも携わりました。</p> <p>地域の歴史や地域の魅力、旧笹川家住宅の活用において、私の経験したことから何かお話しできることがあればご協力したいと思い応募させていただきました。よろしくお願いたします。</p>
山崎委員	<p>日本大学の山崎誠子と申します。建築学科を出て、父の設計事務所に勤務していましたが、植物が好きなので東京農業大学で植物造園学を勉強しました。建築と造園を融合させるような仕事をしたいと思い、大手設計事務所で外構設計の仕事をしていましたが、その後独立し、保存計画が専門の大学の先輩と組んで、史跡の整備や環境調査、縄文遺跡をイメージした植栽などの整備をしてきました。他にも、新潟では古津八幡山遺跡の整備の際に植栽を担当するなど、住宅の活用にもいくつか取り組んでいます。</p> <p>家よりも先に見えるのが外構であり、外構の魅力が呼び水となると思います。季節的に人をひきつけるのは建物ではなく、周囲の環境です。こういう花があった、こういう紅葉がというのが人を呼びます。笹川家の庭園は、現在は荒廃しておりよく見えていません。入込人数を増やすために、私の経験上のアドバイスや設計の手法をお話しできればと思います。よろしくお願いたします。</p>
南雲委員	<p>私は新潟市の出身で、職業は観光業です。庭園や外構についてはこの会議で学ばせていただきたいと思います。細々と現場も続けておりますので、お客様目線での観光施設の見方や、私には中学三年生の娘がいるので、子どもたちから見た魅力や子どもたちへの伝え方などについて、ご協力できればと思います。</p> <p>実は、今年の凧合戦の頃に、Facebookで募集しているのを見かけて旧笹川家住宅のお庭の掃除に参加し、観光客目線で色々と考えながら見学をさせていただきました。どこへ行っても観光客目線で見ってしまうので、変なことを言うってしまうこともあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いたします。</p>
海津委員	<p>一般社団法人白根青年会議所で今年度の副理事長を務めている海津悠平と申します。当青年会議所は、現在35名で組織されております。旧笹川家住宅のある新潟市南</p>

	<p>区味方地区は、10年ほど前に合併する前は旧味方村でした。私が住んでいるのは川を挟んで向こうの旧白根市、当会議所には旧月潟村出身のメンバーもおります。地元代表というとおこがましいですが、数年間で築いてきた地元の仲間とのネットワークを駆使して会議に寄与していきたいと思っています。</p> <p>私は日本大学理工学部出身土木工学科出身で、山崎委員のいらっしゃるキャンパスで学んできました。建築や庭園に関してはまったくの素人ではございますが、味方地区にたくさんいらっしゃる熱意のある方々のご意見を集め、この会議に反映していきたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。</p>
黒野会長	<p>ありがとうございました。下間調査官には、会議の最後にご助言をいただきたいと思えます。</p> <p>それでは、会議次第の議事（1）に移ります。</p>
<b>（1）平成27年度調査の概要について</b>	
黒野会長	平成27年度調査の概要について、事務局から説明をお願いします。
事務局	これから、平成27年度の調査概要について説明させていただきます。資料については、事前に送付させていただきました。時間の関係もありますので、主な内容についてのみ説明させていただきたいと思えます。説明は、本業務を受託しているパシフィックコンサルタンツ株式会社からさせていただきます。
PCKK	資料2と参考資料に沿って、平成27年度調査の概要をご説明させていただきます。（「資料2」説明）
<b>（2）質疑及び意見交換</b>	
黒野会長	ありがとうございました。ご説明いただいた点について、ご意見、ご質問をお願いいたします。今年度は調査を進めている段階で、来年度は計画策定の予定となっているので、ご意見は今後の調査に反映させていただきます。
山崎委員	15ページの調査のスケジュールに関する質問です。「平成28年、平成29年」と書いてありますが、「平成27年、平成28年」のお間違いではありませんか。
PCKK	「平成27年、平成28年」が正しく、「平成28年、平成29年」は誤植です。申し訳ございません。
海津委員	ご説明ありがとうございました。地元の人間の意見としては、「今後旧笹川家住宅をどのように活用していくのか」「活用のためにどのような修復を行うのか」がポイントになると思います。地元では、すでに活動をしている方々がいらっしゃいますし、我々も微力ながら、区産業振興課と一緒に観光ツアーで旧笹川家住宅を回った際には、ボランティアガイドができるくらいに建物を勉強しました。提言書を見せていただきたいと思えます。また、地元の聞き取り調査や今後の調査の結果は、3月の委員会までではなく、分かり次第委員に配信していただけるとありがたいと思いま

	す。
黒野会長	そうですね。3月までだいぶ時間が空きますので、教えていただけると我々も考えやすくなります。
永井課長	提言書はすぐにお送りできますので、対応させていただきます。その他の調査結果については、PCKKと相談して対応させていただきます。
南雲委員	旧笹川家住宅は新潟市が管理されているのですか。
永井課長	旧笹川家住宅は新潟市が所有しており、新潟市が管理しております。
南雲委員	旧笹川家住宅が最終的に目指すゴールやその時期について教えてください。
永井課長	大規模な修築には費用がかかるので、ある程度の年限をかけて段階的に進めていくことになると思いますが、今のところ「この時期を目途にこれをどうします」というのはまだ決まっていません。先ほど南雲委員がおっしゃられたような、観光客目線で気になる場所など、取り組めるところにはすぐ取り組んで、長期的に考えなければならぬものについては計画を立てていかなければならないと思っています。
渡辺区長	28年までの計画がすべて終わるまで何もやらないということではありません。旧笹川家住宅は、現在も区づくり予算を使って人を呼ぶためにいろいろな取り組みを行っています。先ほども申し上げましたが、旧笹川家住宅を訪れる観光客は、多いときは5万人もいたのに、今は年間5000人くらいしかいません。「どこに魅力が足りないのか」「どういことをすれば魅力が増えるのか」ということを、専門家の方のご意見をいただきながら検討し、建物の補修については文化庁との検討が必要ですが、イベントなどの誘客の取り組みは随時行っていきますので、よろしくお願いします。
南雲委員	まずは調査をしてからということですね。ありがとうございます。
黒野会長	先ほど、石垣委員は記憶を残していくための活動をしているというお話を聞かせていただきました。そういったご経験の中から、調査や、注目すべきことについてアドバイスをいただけませんか。
石垣委員	ハード面の他に、市として、区として、地域住民をどのようにして巻き込みながら進めていくのが重要だと思います。各県内の顕彰施設や自治体が地域の先人を紹介するに当たっても、活動のなかで視点を少し変えてみたり、他の刺激が加わったりすることによって、活動の範囲が広がる場合があります。 グランドデザイン的な大きな枠の方向性もあると良いように思いました。まだしっかり読み込めていないので理解しきれていない部分もありますが、こういった計画がつくられるのはなかなかない、せっかくの機会ですので、そういった観点も含めて計画が策定されると良いと思います。
黒野会長	ありがとうございます。
山崎委員	庭木の調査についてですが、私は以前、牧野富太郎記念館の植栽について、「牧野

	<p>富太郎が植えたもの」と「公園化するために植えたもの」をはっきり分けて、その時代に合ったものを残そうという指針を出したことがあります。</p> <p>私はまだ旧笹川家住宅の現地を見ていないのではっきりとは言えないのですが、旧笹川家住宅の庭木にも「庭をつくるために植えたもの」「自然のまま残しているもの」「鳥によって運ばれて生えてきたもの」があると思います。それを推察するのは難しいのですが、それらの区別を調査項目に加えて欲しいと思います。「この木は大木だから残そう」とつい考えがちなのですが、そういった区別をすることで、どの木を残すべきかがわかるようになります。</p>
海津委員	<p>堀は調査範囲に含まれていますか。ここへ来る前に覗いてみたのですが、水が淀んでいました。</p>
PCKK	<p>堀も調査範囲に含まれています。逆に言うと、堀までが調査範囲です。</p>
黒野会長	<p>堀の水の流れについても調査に組み込んでほしいということですね。</p> <p>幕末でも近代でも構わないので、笹川邸の中でどんなことが行われていたのか、曾我先生や平澤先生は笹川邸をどのように見られていたのかを知りたいと思います。もし、聞き取り調査の中でそういったことが分かれば、来られた方にその場所をその人の目で見ていただくような活用ができますので、ぜひ教えてください。</p> <p>先ほど南雲委員がおっしゃっていた旧笹川家住宅の掃除に私は気がつかなくて、行かれなかったのですが、南雲委員がその時にどのようなことにお気づきになったのか、教えていただくことはできますか。</p>
南雲委員	<p>恐縮ですが、気づいた点をいくつか申し上げます。Facebookで募集していたこともあり、お掃除には意外と若い人たちも集まっていっぱいしました。軽い作業だろうと気軽に行ったら、軒下の落ち葉を掃いたり、苔をはがしたり、朝から昼まで本格的に掃除をすることになりました。掃除をした時の感想は、「きれいなところに人が集まる」ということです。</p> <p>また、掃除をしながら一通り旧笹川家住宅を見て歩きましたが、どこが見せ場なのかが分かりにくいと感じました。間口からは感じさせない奥行があって、蔵がいくつもあって、見るとどこもすごいけれど、見るべきところがどこなのかがわからないのは残念です。例えば、天井を見上げればすごい梁があるので、梁にピカッと照明を当ててみれば、来た人の目を引けるかもしれません。</p> <p>お掃除に集まっていたのがどういう人たちなのか分かりませんでした。参加者の中に、味方のことや風のことなど、昔のことを熱心に語ってくれる人がいっぱい、地元の人が郷土愛を持っていることがとても伝わってきて、よそ者の私まであたたかい気持ちになりました。今は中に入っても人気がないし、暗くてさみしいので、入ったときに人の温かみや郷土愛を感じられるような活用のしかたができれば良いと思</p>

	います。
黒野委員	ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。
石垣委員	先ほどの黒野会長のご発言を受けて、聞き取り調査のヒントになるかもしれないので、一つ情報提供させていただきます。平澤興に関しては、本人がエッセイをたくさん書いているので、そこから調べることができるのではないかと思います。また、晩年の平澤先生をご存知の方や著作の編集に関わった方が年配の方の中にはいらっしゃいますので、そういった方々のヒアリングをされると良いかもしれません。笹川邸でどのようなことが行われていたかなど、得られる情報があれば、それは昔の建物や古い人たちを知るストーリーにもなります。そういったストーリーづくりも活用の中では必要になるかと思います。
黒野会長	<p>情報提供ありがとうございます。</p> <p>今日ご発言していただいたこと以外にも、委員の皆様には随時お気づきになったことや意見を送っていただければ嬉しいと思います。現在は調査の途中ということもありますので、調査に反映できることがあるかもしれません。</p> <p>それでは、最後に下間調査官からご意見をお願いいたします。</p>
下間調査官	<p>今日は皆様のご意見を拝聴し、刺激を受け、私自身大変勉強になりました。</p> <p>保存活用計画の策定指針だけを見ると、これにどのように関わっていけばよいのだろうか、みんな気持ちが固く、不安になってしまいがちです。しかし、例えば、資料1の2ページに付けていただいた計画策定の手順の一番上に、この活用計画がかかってくるかもしれません。「こんな風に使いたい」「みんなでこんな風に空間をシェアしたい」といった、夢を実現するために専門的な英知を使っていくという発想でいた方が、良いアイデアが出てくるのではないかと思います。</p> <p>ひとつご紹介しておきたいのですが、文化庁の業務というのは、文部科学省設置法の中で「文化の振興」というたったの5文字で記されています。文化とは、教育やスポーツなど、大勢の人が参加してくれて初めて成り立つものです。振興とは、人の気持ちを奮い立たせて、それに参画してもらえる環境をつくることです。文化財保護とは、文化財に人々の気持ちをどのように向け、お金や時間をかけてもらえるかということが非常に大切です。文化財保護というと、どうしても規制の話になってしまっていて、敬遠されてしまうこともありあます。規制はもちろん非常に大切な側面ではありますが、人が参加し、楽しく気持ちを乗せていける部分がないと文化財保護は進んでいかないというのは、この20年くらいで多くの方が経験してきたことです。</p> <p>委員の先生の中からは、今後の活用のしかたが大事であるとか、ランドデザインをきちんと記すと良いなど、貴重なご意見をいただきました。また、敷地に入るときに先に目に入ってくるのは景色だというご指摘には確かにそうだと思いますし、活</p>



	<p>用においてお子さんの目線や女性の目線が加わることも大変重要です。そして、そんな委員の皆さまからいただいたたくさんのご提言を、非常に柔らかくまとめてくださる黒野先生に会長を務めていただき、最強のメンバーが結集したと思っています。この先の展開を非常に楽しみにしています。</p> <p>この先、事務局や行政でなければ書けないものや、専門的な部分が混じり込むところは否めませんし、堅い議論や難しい説明もあるかと思います。しかし、そういう時は臆せず、分からないところは分からない、おかしいところはおかしいと、どうぞご指摘ください。ご提言をいただき、夢を乗せた計画にさせていただければと思います。</p> <p>私は委員の先生の意見にご助言をするような立場ではございませんので、今日の感想を述べさせていただきました。本日はありがとうございました。</p>
黒野会長	<p>ありがとうございました。予定の時間も近づいてまいりましたので、議事は以上とさせていただきます。進行を事務局にお返しいたしますので、よろしく願いいたします。</p>
<b>9. 閉会</b>	
高橋課長補佐	<p>ありがとうございました。次第の8. 現地視察については自由参加とさせていただきます。第2回検討委員会は、3月1日の午後、南区役所での開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
永井課長	<p>本日は長時間のご議論をありがとうございました。私も、地域の人が柱を磨きに来てくれるなど、保存活用に協力してもらえようになったらいいなと思っていました。そういったことを実現できる計画にしていければ嬉しいと思います。</p> <p>黒野会長からもお話がありましたが、3月まで時間が空いてしまうため、どんなことでも構いませんので、後から思いついたことがあればメールをいただければと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
<b>8. 現地視察</b> (黒野会長の解説で、石垣委員、南雲委員、山崎委員が参加されました。)	